

3 (1) 平成 24 年度事業計画について

1 常設展示

内容： 飯山市出身あるいはゆかりの芸術家及び企画展を開催した画家の作品を中心に常設展示を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて 60～70 点を常設展示する。

期間： 企画展の開催期間を除いた期間

2 企画展 (企画展開催事業)

①名称： ①北信濃逍遙の画家たち ②生きることは描くこと～飯山 7 人の肖像～

期間： 9 月 8 日 (土)～11 月 4 日 (日) 開館日数 50

内容： 北信濃飯山に暮らす洋画・日本画家 7 人による展覧会。厳しくも美しい自然と人々の暮らしが織り成す風物を描く画家たちの北信濃への限りない愛惜の念が感じられる作品の数々を展示紹介。

※出品予定者 (50 音順)：岩上隆静 (洋画)、岡田千春 (洋画)、川口昇 (洋画)、駒村久弥 (洋画)、田中渉 (洋画)、松澤芳宏 (洋画)、吉越隆師 (日本画)

②修復を終えた長谷川青澄作品『浅間』を特集陳列。

3 ギャラリー企画展等

方針：市出身作家はもちろん市内外の作家も積極的に紹介し、施設の活性化を図る。

①名称： 第 33 回飯山市民芸術祭

期間： 4 月 21 日 (土)・22 日 (日) (2 日間)

内容： 市民芸術祭の会場の一部として、展示室・ロビー・ギャラリーに絵画 (水彩・油彩・水墨・日本画)・書道・華道・その他の作品を展示する。

備考： 4 月 20 日に常設展示作品撤収及び市民芸術祭出品作品展示作業

4 月 22 日午後 5 時から市民芸術祭作品撤収、4 月 23 日の休館日に常設展示作品展示作業を実施。入館者数 485 人。

②名称： 奥信濃 みゆき野四季光彩—川口和平写真展— (50 千円、企画展開催事業)

期間： 4 月 29 日 (日)～5 月 27 日 (日) 開館日数 25

内容： 飯山市周辺のみゆき野を舞台に、美しい自然を撮影し続ける飯山市在住の写真家・川口和平氏の 25 年にわたる活動の成果 80 余点を紹介する。ギャラリーとロビーを使用。入館者数 370 人。

③名称： 「これから 青木勇治個展」 (50 千円、企画展開催事業)

期間： 7 月 28 日 (土)～8 月 25 日 (土) 開館日数 25

内容： 秋津小学校教頭 (美術担当) の青木勇治氏による絵画展。第 86 回国展絵画部奨励賞受賞作をはじめ、北信展・県展等受賞作を中心に展示紹介。

④名称：第3回城南・城北中学校美術部展（50千円、企画展開催事業）

期間：11月10日（土）～12月16日（日） 開館日数32

内容：城北中学校と城南中学校の美術部合同展。
両中学校の美術部員の作品を展示する。

4 美術教室・ワークショップ等

方針：美術に関わる教室や講座等を実施する。

内容：
・総合学習センターの教室等（夏休み体験教室、春休み体験教室、いいやま
ウイークエンド教室）で美術・図工の企画運営に関わる。
・美術館の企画として、未就園児・小中学生を対象にワークショップを開催
する。

5 五郷研修館の活用・連携

方針：県外在住の芸術家を支援し、美術館活動の活性化に繋げる。

内容：平成14年度から継続。不定期に飯山を訪れ、絵画作品などを制作（制作場所：
五郷研修館）。

研修館を使用している美術家：

○原田卓三（大阪府在住、東京芸術大学大学院修了、独立行政法人造幣局）

○瀬島匠（東京都在住、武蔵野美術大学卒、武蔵野美術大学非常勤講師）

○内田寛（絵画、愛知県在住、名古屋芸術大学卒）

6 施設整備事業

・安全性維持のため館内エレベーターの改修工事を実施。

7 美術品修復事業（2,783千円、美術品管理事業、繰越事業）

・長谷川青澄日本画作品『浅間』の修復を、京都市の修復専門業者に依頼中。
6月30日完了予定。

平成 24 年度 予算概要 (別途：総合学習センター維持管理費)

事業名	科目	内 容	金額 (千円)	備 考
美術館管理運営事業 (予算 1,903 千円)	報 酬	運営協議会報酬	103	
	報償費	講師謝金	40	
	旅 費	講師・職員旅費	88	
	需用費	消耗品・食糧費・印刷製本費	609	
	役務費	通信運搬費・美術品運搬料	368	
	委託料	警備・業務委託	525	
	使用料	電話・清掃用品等	165	
	負担金	博物館協議会	5	
企画展開催事業 (予算 1,430 千円)	需用費	消耗品・食糧費・印刷製本費	856	
	役務費	美術品運搬料・看板・作品撮影	552	
	使用料・賃借料	レンタカー	22	
施設整備事業	需用費	エレベーター修繕	600	
		計	3,933	

※ (H23 繰越金) 美術品管理事業 2,783 千円